

1. 件名:「日本原燃(株)再処理施設及び MOX 施設の安全性向上評価に係る面談」

2. 日時: 令和4年12月7日(水) 10時00分~12時00分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

核燃料施設等監視部門

伊藤管理官補佐、森野係長

技術基盤グループ

システム安全研究部門

森上席技術研究調査官、久保田技術参与

日本原燃株式会社

安全・品質本部 安全推進部長 他6名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、本年10月5日の面談を踏まえ、再処理施設及び MOX 施設における安全性向上評価の取組方針等の検討状況について、当日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点を伝えた。

- ・ MOX 施設のリスク評価や安全裕度評価の評価時期について、事業者の安全性向上の取組を対外的に示すという制度の趣旨を理解の上、現行の加工施設及び再処理施設の安全性向上評価に関する運用ガイドにおいて「原則として5年ごとに改訂すること」などとしていることを踏まえ、評価時期を改めて整理すること。
- ・ リスク評価について、重大事故時の評価は明確になったものの、通常時の被ばく線量の取扱いについても、これまでの議論を踏まえ、具体的な内容を示すこと。
- ・ 再処理施設の PRA モデルについては、冷却機能喪失であれば内部ループごとの構築や重大事故等対策として1つの中型移送ポンプを使用する範囲での構築なども考えられるので、代表貯槽でのモデル整備状況に加えて、複数貯槽のモデル化の方針についても、具体的な検討状況を説明すること。

(3) 日本原燃から、了解した旨の回答があり、資料を修正して示す旨の発言があった。

## 6. その他

### 提出資料

「MOX 燃料加工施設および再処理施設における安全性向上評価の取組みについて」

「再処理施設 PRA（冷却機能喪失、水素掃気機能喪失）の評価の進め方」

### 参考

- ・ 令和4年10月5日 日本原燃(株)再処理施設及びMOX施設の安全性向上評価に係る面談

<https://www2.nra.go.jp/data/000406086.pdf>